

THE QRP NEWS

The Official Journal of the JARL QRP CLUB vol.68

発行人

JR1QJO 矢部 伊知郎

編集人

JN3DMJ 松本 貢一



小さなパワーで大きな感動

QRP: Small Power, Big Dreams!

JARL QRP CLUB 会報 2026年3月1日発行 vol.68-06-Public
公開版 (会員限定紙会報の一部を公開しています)

関係各位のご協力を得まして、紙の会報を発行することができました。この会報は2025年度を振り返る形でまとめました。一部の記事は2025年3月以降の会報に掲載した記事の短縮版となっておりますので(一部更新あり)、各会報をご覧くださいければと思います。

2025年度は関西アマチュア無線フェスティ

バル、ハムフェア、北海道ハムフェアが開催されました。クラブ単独行事としても、前年に引き続き全国集会を開催することができ、会員間の交流も図られ、たいへん良かったと思っております。

※本文中に出てくる2025年9月14日発行の会報 vol.68-03 以前の会報は会員限定です。

CONTENTS

【運用】 進め電波老人 甘党の鬼が出たの巻	JR3ELR/1	吉本 信之	2
【製作・運用】 沖縄県 POTA 自作 QRP 運用記	7L4WVU	原口 忠	4
【製作】 430MHz SSB ハンディトランシーバーの製作	JG3ADQ	永井 正範	5
【製作】 144MHz FM トランシーバーの製作	JG3ADQ	永井 正範	6
【製作】 SDR 技術を活用した 40m バンド SSB トランシーバー	JA0UFZ	戸井 順	7
【製作】 シンプルな 6m シングルスーパー受信機	JG1SMD	石川 英正	8
【製作】 アカギスタンダードタイプの 7MHz トランシーバーの製作	JG2VSF	大鐘 智巳	9
【製作】 お気楽製作 7石中波ラジオキット組み立てました	JG2VSF	大鐘 智巳	9
【製作・運用】 28MHz・50MHz A2A ビーコンの製作など	J13RLY/K8RLY	藤田 祐二	10
【運用】 故 JA1AA 庄野さんとの QSO	JE6QDG/ex JG1BBP	川尻 裕一郎	10
【レポート】 札幌 QRP ミーティング1月例会・JA8AVC 高橋さん追悼の会	JA8DRE	鈴木 雅晴	11
【レポート】 大阪、日本橋へ行こうっ!	JR4EDG	有田 浩丞	11
【その他】 タワー、アンテナ、リグの保険について	JR7HAN	花野 峰行	12
【その他】 AED と心臓マッサージに思う	JE1UCI	富川 寿夫	12
【会員の自己紹介等】		(編集部)	13
【レポート】 第29回関西アマチュア無線フェスティバル (KANHAM2025)	JN3DMJ	松本 貢一	24
【レポート】 ハムフェア 2025	JN3DMJ	松本 貢一	26
【レポート】 第8回北海道ハムフェア	JN3DMJ	松本 貢一	29
【レポート】 2025年 JARL QRP CLUB 全国集会	JN3DMJ	松本 貢一	31
【お知らせ】 2025年度活動報告		役員・監査役一同	33
【お知らせ】 JARL QRP CLUB からのお知らせ	JN3DMJ	松本 貢一	34
【編集後記】	JN3DMJ	松本 貢一	34

【運用】進め電波老人 甘党の鬼が出たの巻

#33 JR3ELR/1 吉本 信之

○プロローグ

毎回何か起きてしまう電波老人の無線旅。宮崎県の JCG サービスを兼ねて 2025 年 12 月 8 日から宮崎・鹿児島へ無線旅をやってきました。今回も桜島がドンと噴火し、北海道に続き南のカメムシに襲われる波乱の旅になりました。

○その 1 JCG45001B 三股町旭ヶ丘運動公園

都城市に宿をとり翌朝隣の三股町の公園で運用しています。都城市の冬は放射冷却で起きる盆地性の雲海が起きます。レンタカーには霧が分厚い霜になって張り付いていました(写真 1)。



写真 1 朝霧 都城盆地冬の風物詩

公園の駐車場でアンテナを展開して運用を始めたものの交信しなかった 9.5 エリアの方々はスキップ状態で入感無で、可哀そうですがこれも運命とあきらめてもらいました。他のエリアの方とは交信できていたので釣果は 7MHz FT8 で 9 交信ありましたが、このまま見捨てると祟(たた)られます。最終日の帰り際に再度救済運用し、このときの釣果は 7MHz FT8 で 8 交信でした。祟(たた)り神たちを旅の道中はおろか QSL が手元に着くまでずっと道中の守護神にさせる電波老人ならではのしたたかな秘術です(写真 2)。



写真 2 JCG45001B 三股町旭ヶ丘運動公園

○その 2 JCC4622 志布志市運動公園

都城市から志布志市へは 2025 年に全通した高規格道路で楽に移動できるようになり志布志 IC を降りた先の海岸の公園で運用しています。釣果は 7MHz FT8 で 38 交信、7MHz CW で 16 交信でした(写真 3)。



写真 3 JCC4622 志布志市運動公園

○その 3 JCG46011D 大崎町大崎ふれあいの里公園 /道の駅 くにの松原おおさき

志布志市の西隣、伏流水で養殖したうなぎが名物の大崎町は道の駅で運用しています。しかし近隣に太陽電池畑がありインバータノイズに弱い CW は止めて FT8 の限定運用です。釣果は 7MHz FT8 で 9 交信でした。翌日は太陽電池畑から離れたところで運用し 7MHz FT8 で 11 交信、10MHz CW で 9 交信でした(写真 4)。運用のあと道の駅で地元の養殖うなぎ定食を食べましたが、久々にうなぎ本来の匂いが残るかば焼きに出会えました。



写真4 JCG46011D 大崎町大崎ふれあいの里公園 /道の駅 くにの松原おおさき

○その4 JCC4622 志布志市有明

平屋造りの民宿に二泊しています。釣果は初日が7MHz FT8で61交信、二日目が7MHz FT8で22交信でした(写真5)。



写真5 JCC4622 志布志市有明

○その5 JCG46008G 東串良町 町民運動場

運用中にドン!!と炸裂音が轟きわたり AM ラジオからは桜島が爆発して噴煙があがり降灰注意のアナウンスが流れました。でも、これが鹿児島の日常なんです。同じ鹿児島県内の活火山でも口永良部島や薩摩硫黄島、諏訪之瀬島は噴火したら火山弾が飛んでくる「サクラサクラ」打電覚悟の上陸でしたから地続きの退路がある本土運用は噴煙があがっても安心です。釣果は7MHz FT8で33交信、7MHz CWで6交信でした(写真6)。



写真6 JCG46008G 東串良町 町民運動場

○その6 またカメムシ出た!!!!

志布志市有明の宿で運用中、頭上で大きな羽音がしたので運用を中断し犯人を仕留めたらツヤアオカメムシでした(写真7)。アンテナ線を引き込むために窓を開けたときに侵入した模様です。北海道大樹町晩成温泉に続きカメムシにすり寄ってこられるとは、2025年は運が悪い。こいつが部屋に入り込んできた原因は窓の外にずらりと並んだ干し柿でした。このカメムシは甘柿に取りついて吸引針を刺し黒い陥没をつくって売り物にならなくしてしまう大害虫です。渋柿だと猿や熊が樹上で喰うときと同じで未だ渋いと一度刺しただけで飛び去っていきませんが、渋味が抜け始め固くなる前の干し柿には取りついて針を刺して満腹になるまで吸いまくります。半世紀以上前の幼少期に視た記憶が蘇った瞬間でした。



写真7 ツヤアオカメムシ

○エピローグ

2025年最後の波瀾万丈無線旅は、185交信で締めくくることができました。2026年の旅は新たな出会いと発見を求め回数を減らしながら継続したいと思っています。



図1 位置関係

(編集部より)

吉本 OM の「進め電波老人」シリーズとしては、
2025 年 3 月 1 日発行の会報 vol.67-06

「今年も花見運用でスタート今帰仁村の巻」

2025 年 5 月 31 日発行の会報 vol.68-01

「2 月も奄美で花見の巻」

2025 年 8 月 17 日発行の会報 vol.68-02

「オホーツクで今期最後の花見の巻」

「オホーツク GL:QN24 再びの巻」

2025 年 11 月 13 日発行の会報 vol.68-04

「秋の北海道で FT8CN がオシャカの巻」

2026 年 1 月 1 日発行の会報 vol.68-05

「晩秋の北海道で鬼退治の巻」

を掲載していますので、ぜひご覧いただきたい
と思います。

**【製作・運用】沖縄県 POTA 自作 QRP 運用記
#1143 7L4WVU 原口 忠**

昨年の 5/28~30 に沖縄に移動して自作 5W トランシーバーと長さ 2m のロッドアンテナで POTA (Parks On The Air) の Activation を行いました。沖縄県の POTA 対象の公園は離島含めて 19 か所ありますが、今回は、図 1 の沖縄本島 12 か所をまわるスケジュールでした。POTA の Activation は、各公園で 10 交信が必要となり、東

名阪エリアからは先に記載した簡単な設備でも日中 7MHz にできれば 30 分もあれば交信できるのですが、伝搬が異なる沖縄から満足に交信できないのではないかと心配でありました。



図1 沖縄本島の POTA 対象の公園
(赤色が今回 Activation したところ、緑は今回未)

写真 1 は今回の移動で使用した自作 WVU604F トランシーバー 5W アンプ付 + 電源は 20Wh のモバイルバッテリー。スマホで FT8 運用をしています。

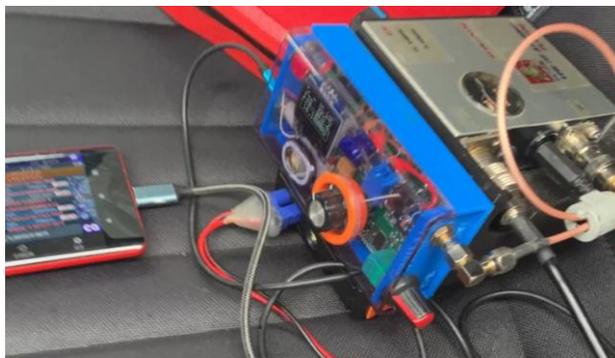


写真1 自作 WVU604F トランシーバー
5W アンプ付 + 電源 + スマホ

2 日めの天候が悪く、スケジュールが厳しかったのですが、沖縄本島の 12 のうち 11 公園を Activation することができました。E スポも大きくオープンすることはなかったのですが、海外局からも呼ばれたりマルチバンドで楽しめました。次回は、離島中心にまわりたいと思います。

詳細は 2025 年 8 月 17 日発行の会報 vol.68-02 をご覧ください。

**【製作】430MHz SSB ハンディトランシーバーの製作
#58 JG3ADQ 永井 正範**

2024 年は 430MHz SSB 固定用トランシーバーを製作しましたが、交信チャンスを増やすためにも移動機が欲しくなり、2025 年になって充電電池を内蔵した出力 100mW のハンディ機を作り、KANHAM2025 にて QRP クラブのブースで展示しました。

回路は 2024 年 8 月の会報に投稿した「430MHz SSB トランシーバーの製作」をほぼ踏襲していますが、電源電圧が 12V からニッケル水素 8 本の 10V に下がったため、回路定数を少し変更しました。

1978 年にアイコムから IC-302 という 430MHz SSB のハンディトランシーバーが売り出されたものの、70K 近い価格で手が出ませんでした。しかし今回の製作で半世紀前の夢が叶ったため、これからは移動運用を楽しみたいと思います。



写真 1 完成したトランシーバーの外観

特徴

- 1.コンパクトなトランシーバーで、アンテナとマイクを接続すれば即運用できる。
- 2.10 回転ヘリポットによる容易な同調。
- 3.スキャン回路により約 5 秒で自動ワッチ。誰かが出ればビート音で気付く。
- 4.電源電圧が下がると LED が点灯し、充電のタイミングを知らせてくれる。
- 5.ツマミやコネクタ類は全て正面パネルに集約しており操作性が良い。

6.ケースは最適なサイズになるようアルミ板で自作。

仕様

- 1.周波数：430.140～430.320MHz
- 2.送信出力：100mW
- 3.終段 TR：2SC2407
- 4.受信部：第 1 中間周波数 46MHz、
第 2 中間周波数 14.318MHz
W スーパー
- 5.サイズ：幅 132×高さ 44×奥行 156mm
(突起部を含まず)
- 6.質量：800g



写真 2 (左) トランスバータ部

写真 3 (右) ジェネレータ部

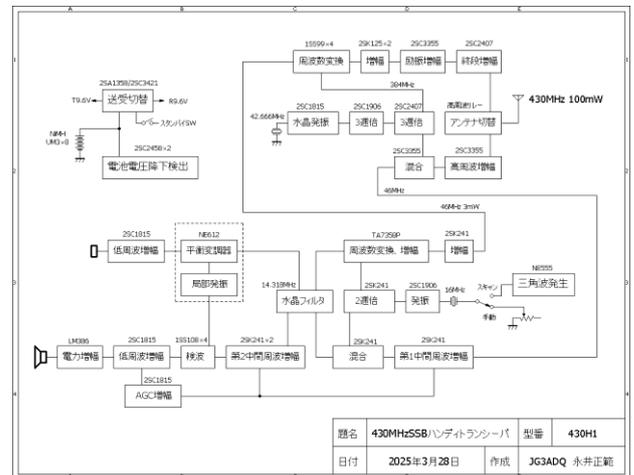


図 1 ブロックダイアグラム

詳細は 2025 年 9 月 14 日発行の会報 vol.68-03 をご覧ください。さらに詳しくはこちらで

<https://jg3adq.a.la9.jp/430h1.htm>

【製作】144MHz FM トランシーバーの製作
#58 JG3ADQ 永井正範

1970年頃のCQ誌に144MHz FM ハンディトランシーバーの製作記事があり、学生だった当時これを作りたいとバラック実験を始め、受信部までは出来たもののテスターとディップメーターしか持ってなかった測定環境に技術力不足が加わり、送信部で行き詰って製作を断念しました。その後、社会人になってからはハンディFMトランシーバーが数万円で買えるようになり、出張や旅行の時には携帯してQSOを楽しんだものです。しかし頭の片隅には「自作出来なかった」というやり残し感があり、定年退職後の自由時間を活用し、再び取り組むことにしました。



写真1 完成した144MHz FM トランシーバーの外観

特徴

- 1.周波数表示はオフセット機能付きの周波数カウンタを使い、それ以外はアナログ満載のディスクリートで組んだ回路構成。
- 2.同調は可変(TUN1)と145MHz固定(TUN2)をスイッチで選択。
- 3.配線は平ラゲ板を使用し、回路実験のための試行錯誤を容易にした。
- 4.ケースは1.5mmと1mm厚のアルミ板で自作。

仕様

- 1.周波数：144.970～145.130MHz
- 2.送信出力：0.6W
- 3.終段：2SC2851
- 4.受信部：高1中5ダブルスーパー
- 5.中間周波数：第1中間周波数=10.7MHz
第2中間周波数=455kHz
- 6.帯域幅：±5kHz
- 7.周波数表示：周波数カウンタ PLJ-0802A を使用(オフセット周波数10.7MHz)
- 8.サイズ：幅180×高70×奥行220mm
(突起部を含まず)
- 9.電源電圧：12V

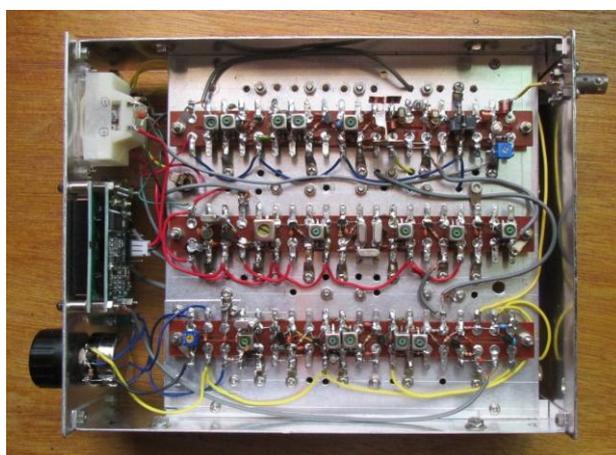


写真2 内部(上面)

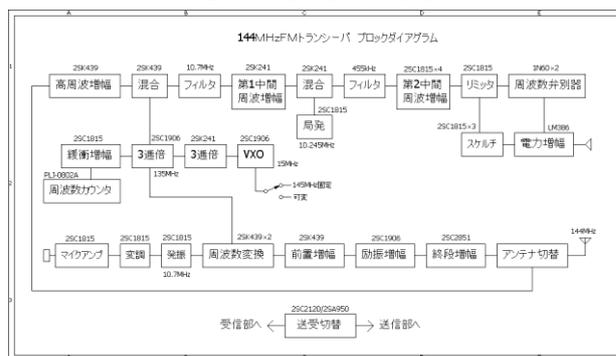


図1 ブロックダイアグラム

詳細は2026年1月1日発行の会報 vol.68-05 をご覧ください。さらに詳しくはこちらで
<https://jg3adq.a.la9.jp/144f3.htm>

【製作】SDR 技術を活用した 40m バンド SSB トランシーバ

#1083 JA0UFZ 戸井 順

SDR (Software Defined Radio) 技術を活用した 40m バンド SSB トランシーバについて紹介します。これは、2025 年ハムフェアの QRP クラブブースに展示した、ソフトウェアによる 40m バンド受信機と SSB ジェネレータを一体化したトランシーバです。受信部にはイメージリジエクトミキサを用いたダイレクトコンバージョン方式を採用し、送信部も同様のミキサ構成により SSB 信号を生成しています。

表 1 仕様

周波数	7.000 MHz ~ 7.200 MHz (40m バンド)
電波型式	LSB、CW
復調方式	ダイレクトコンバージョン (イメージリジエクトミキサ) 受信信号をベースバンドに変換しデジタル信号処理
変調方式	SSB、音声信号をデジタル信号処理し RF 信号に変換
送信出力、電源電圧	LSB(1W)、CW(0.2W)、DC12V
寸法、質量	約 200W×100H×300Dmm、約 2000g

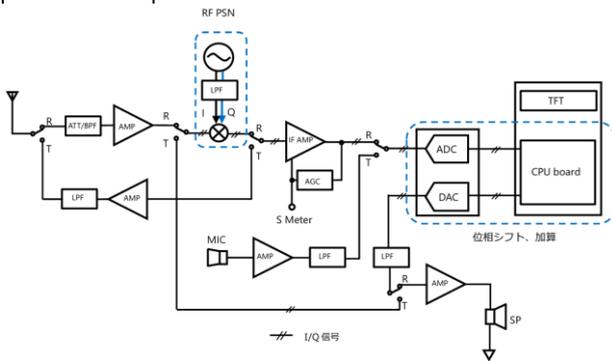


図 1 ブロック図



写真 1 正面パネル

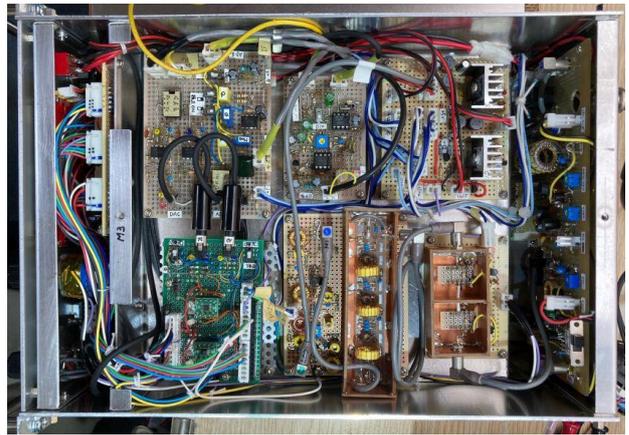


写真 2 内部レイアウト (上面)

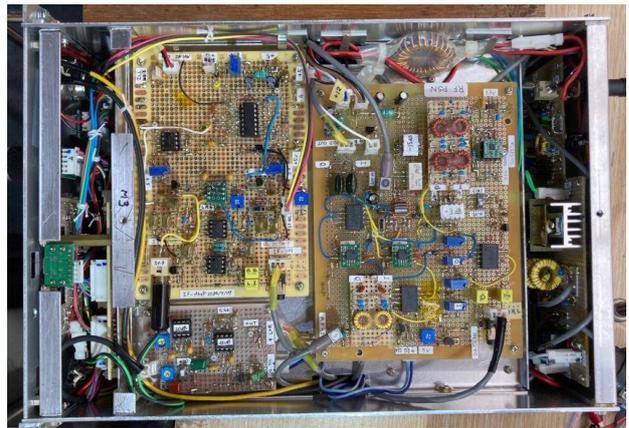


写真 3 内部レイアウト (下面)

まとめ

デジタル信号処理による復調と変調に必要なハードウェアとソフトウェアを実装することができました。

SDR の自作に必要な開発環境を構築し、システム開発を進める基盤を整備できました。

デジタル・フィルタとしてヒルベルトフィルタおよび FIR フィルタによる LPF を導入し、タップ数の影響を評価しました。その結果、リアルタイム動作とのトレードオフを踏まえ、最適なタップ数を検証できました。

デジタル・フィルタの適用、AGC 処理、FFT 表示において CPU 負荷が高く、応答性に制約が生まれました。計算量の増加に伴い、復調時の了解度が低下し聴感上の品質が悪化する傾向が確認されました。

詳細は 2026 年 1 月 1 日発行の会報 vol.68-05 をご覧ください。

【製作】シンプルな 6m シングルスーパー受信機 #988 JG1SMD 石川 英正

JL1KRA 中島 OM が Web サイトにおいて SA612 で作るシンプルな回路の 40m DC 受信機「DC40 Receiver 2023 CRKITS」を紹介しております。

<https://jl1kra.sakura.ne.jp/DC40.html>

手持ち部品があったので組み立ててみたところ、なるほどよく聞こえます。でも自由に周波数を変えたいので発振回路は外付けにし、Si5351a を使いました。

アンテナコイルの調整でかなり感度が変化しますが、40m のアマチュア局の交信、41m/31m の海外短波放送もよく聞こえます。ゼロビートをとれば AM 局も十分聴取に耐える音質です。台湾国際放送、ベトナムの声、ラジオタイランド、中国国際放送などの日本語番組が聴こえました。

こんなに聞こえるならクリコン+フィルタ+DC Receiver 2023 CRKITS にしたら 6m のシングルスーパー受信機になるんじゃないの？と考え、試作してみました。

ともかく小さく作りたいのでフィルタは水晶発振子のラダー型フィルタではなく、安い 10.7MHz 用のセラミックフィルタ、Si5351a を制御するマイコンには 8pin の Attiny402 を使用し、秋月電子の D 型ジャノメ基板（ランド付き）で作ることに固執しました。

できたのが写真 1 のような受信機で、左から RF アンプ、抵抗器を使った RF ATT、クリコン+10.7MHz DC 受信機、局発 (Si5351a+Attiny402)、LCD 表示機+ボタンスイッチというジャノメ基板 5 枚構成です。

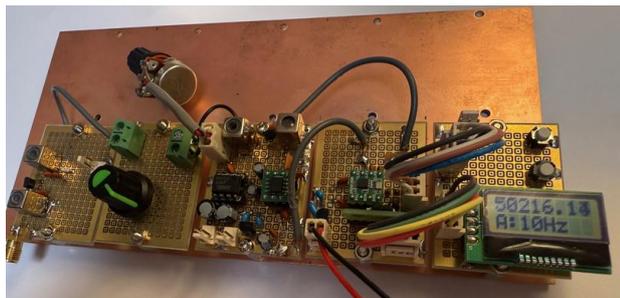


写真 1 試作した 6m シングルスーパー受信機

実際には ATT や LCD、スイッチはシャーシのパネルに取付可能なので、基板自体は 2 枚に収まりそうな感じです。

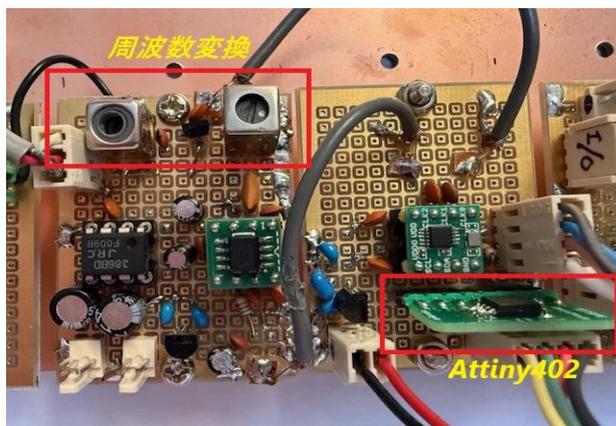


写真 2 クリコンと DC 受信機

マイコンは SIP 変換基板に取付け立型配置にし、基板上での占有面積を小さくしています。

DSB 送信機ならこのユニバーサル基板 1 枚で収まりそうですから、基板 3 枚で 6m トランシーバーも夢じゃないかなと考えています。

受信機のブロック図は図 1 の通りです。Attiny402 で OLED を制御するのはメモリが限られているため大変なのですが、プログラムがコンパクトな LCD 表示にしたことでノイズも大きく減らすことができました。



図 1 受信機のブロック図

ソフトウェアは Arduino IDE を使い作成しています。VFO は A/B の 2 系統切替え、固定チャンネルと VFO の切替えができます。

さてトランシーバーに仕上がるのはいつでしょう(笑) Es シーズン中に実現したいものです。

詳細は 2025 年 8 月 17 日発行の会報 vol.68-02 をご覧ください。

**【製作】アカギスタンダードタイプの
7MHz トランシーバーの製作**
#1195 JG2VSF 大鐘 智巳

アカギスタンダードタイプ 7MHz CW トランシーバーを作りました。

JF1RNR 今井さんの書かれた「手作りトランシーバ入門」の本を手にとった多くの方の多くは、アカギスタンダードタイプの CW トランシーバーを作りたいと思ったのではないのでしょうか。

重い腰を上げて製作を開始して 7MHz 出力 400mW のトランシーバーが完成しました (写真 1)。



写真 1 製作したアカギスタンダードタイプの
7MHz トランシーバー

本を手にとってから何年たったでしょうか、トロイダルコアの巻き数で失敗するとか、アルミシヤシの大きさを間違えるなど経験しましたが、やっと実現できました。

ジャンクの水晶振動子は、周波数選び放題の時代ではなくなっています。良い組み合わせを探すのも困難でしょう。水晶振動子はまだ特注を受け付けてくれる会社がありますし DDS などで代替すれば製作は容易と考えます。

作ったものの私は CW は苦手です。CW の訓練をしないと、です。

詳細は 2025 年 3 月 1 日発行の会報 vol.67-06 をご覧ください。

【製作】お気楽製作
7石中波ラジオキット組み立てました
#1195 JG2VSF 大鐘 智巳

電化製品を廃棄する前に基板を外して保管されている方はいらっしゃるのでしょうか。今の時代はチップ部品ばかりで、基板から部品を取り外して再利用する方は少数でしょう。そしてチップトランジスタは記号で刻印はされているものの型式はさっぱりわからない。ジャンク基板に取り付けられていたチップトランジスタを再利用できないかと思っていました。

買ったまま、組立ず放置している 7石中波ラジオキットがあることを思い出しました。このラジオキットにチップトランジスタを使うことを思いつきました。素性の分からないトランジスタでも、中波帯ならそれなりに働くのではと思ったからです。トランジスタ個々の性能は無視です。



写真 1 とりあえず完成？

トランジスタの性能を引き出すつもりもなく、それなりに働いてくれればいいのだよ、というお気楽な気持ちで組み立てを楽しむ事が出来ました。中波ラジオの AM 放送を止める局も現れ始めましたが、まだまだ中波 AM 放送は健在です。放送を楽しめる内に中波ラジオキットの組み立てを楽しみませんか。

詳細は 2026 年 1 月 1 日発行の会報 vol.68-05 をご覧ください。

【製作・運用】28MHz・50MHz A2A

ビーコンの製作など

#1336 JI3RLY/K8RLY 藤田 祐二

毎年西日本ハムフェアとハムフェスティバル in 香川に出展しております。

「28MHz・50MHz A2A ビーコン」

(28.375MHz es 50.375MHz) については、2024年に0.1WでQRVし、2025年は展示のみしました。

このビーコンは50MHz TX (懐かしのFCZオールインワンTX)、28MHz TX (ミズホさん(販売は二光通販)のRJ-777送信部)、発振部(SG8002)、制御部、符号発生装置で構成されています(写真1)。

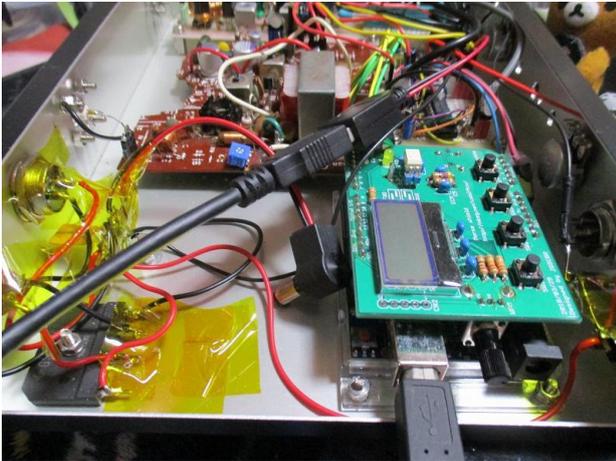


写真1 28MHz・50MHz A2A ビーコン

2024年はA2AビーコンをQRVいたしました。QSOしたいという他の方からの要望と、こちらとしてもQSOしたいと考えました。

2025年の西ハムは主に51MHz F3Eを盛り上げたいと思い、IC-705(0.1W)でCQを出しながらQSOを愉oshimしました。

2025年のハムフェスティバル in 香川では事前に29MHz FMユーザが多いと伺っていたので、IC-705(0.1W)29MHz FMでCQを出して愉oshimしました。

ビーコンの詳細などは2025年3月1日発行の会報 vol.67-06 をご覧ください。

【運用】故JA1AA 庄野さんとのQSO

#362 JE6QDG/ex JG1BBP 川尻 裕一郎

私の無線室の受信機と送信機のペアを紹介します。受信機 NMR240J と送信機 QP7 のペアです。ペアの間に割り込んでいるのは JST110 です(写真1)。



写真1 受信機 NMR240J と送信機 QP7 のペア

QP7はトップバンド用に改造したもので、私のQRPクラブ入会の縁の生まれた大先輩、故JA1AA 庄野さんとのQSOはこのペアで行われました。庄野さんからのQSLカードが写真2です。私から庄野さんへのカードには「長年待っていた庄野兄とお会いでき、それがTOPバンドのQRPとは大感激」と書きましたが、庄野さんのカードには「FBなQSOの後またFBなQSLを頂き感激いたしております」とのメモが見られます。

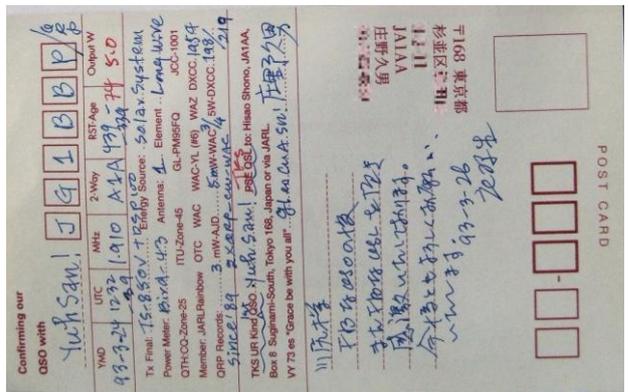


写真2 故JA1AA 庄野さんから頂いたQSLカード

詳細は2025年5月31日発行の会報 vol.68-01 をご覧ください。

【レポート】札幌 QRP ミーティング 1 月例会
・ JA8AVC 高橋さん追悼の会

#1104 JA8DRE 鈴木 雅晴

2025 年 1 月 19 日(日)、札幌市中央区民センターにて、札幌 QRP ミーティング 1 月例会・JA8AVC 高橋さん追悼の会が開催されました。

札幌 QRP ミーティングはアマチュア無線の自作や QRP 通信の愛好者が集まって自作品を披露したり交流を深めたりする会です。2008 年に第一回を行い、以後、不定期で開催しています。

今回は、私たちの仲間だった JA8AVC 高橋さんが、2024 年 10 月 18 日に亡くなりましたので、今回はお別れ会として開催して、いつも穏やかに笑っていた自作名人の高橋さんをしのんで思い出を語りあい、元気な方からは新作の自作品をご持参されて発表がありました。写真 1 は 18 名の部屋に出席者が 17 名あり、18 人目の席はきっと JA8AVC 高橋さんが座っていたと思う会場風景です。写真 2 は集合写真です。



写真 1 会場風景



写真 2 集合写真

詳細は 2025 年 3 月 1 日発行の会報 vol.67-06 をご覧ください。

【レポート】大阪、日本橋へ行こうっ！

#571 JR4EDG 有田 浩丞

これは 2024 年、私が関西ハムフェアに行った帰りに、遊びに寄った大阪日本橋の写真です。大阪日本橋のはしっこに、なつかしい、そしてステキな商店街があります。みなさんもぜひ行ってみてください！



写真 1 日本橋商店会 (2024 年 7 月撮影)

場所は、日本橋の中央をつらぬく大きな道路を、通天閣のほうを向いて右側です。右側の一番つき当りのはしっこ。名前は「日本橋商店会」のようです (写真 1)。

ここには、むかしなつかしのサ店から、中古修理済み家電製品の店やら、私の好きなオーディオ自家製販売店やら、コテコテの気概あふれる店がいくつもあります。はしっこに機械工具屋さんや大工道具屋さんもありましたね。

日本橋中央の大きな道路をはさんで反対の左側には私の大好きなビンテージオーディオ店 (整備済み) ハイファイ堂や 大阪無線もあり、店内には少しですがジャンクもあります。

日本橋もなかなか楽しいですよ～～～

詳細は 2025 年 8 月 17 日発行の会報 vol.68-02 をご覧ください。

(編集部注) サ店：喫茶店 (きっさてん)

(編集部注) 大阪日本橋にはパーツ屋さん (電子部品屋さん) やアマチュア無線機器屋さんがありますが、風情のあるお店も多数あることを紹介した記事です。

【その他】タワー、アンテナ、リグの保険について
#662 JR7HAN 花野 峰行

QRP での DX はアンテナが命。高ければ高いに越したことはありません。2025 年によく長年恋い焦がれていたタワー（愛知タワー製のクランクアップタワー ATK-24 の中古整備品）を建てることが出来ました（写真 1）。



写真 1 建柱とアンテナ移設終了

タワー、アンテナ、リグの保険の話ですが、JARL のアンテナ保険のようにアンテナ倒壊等で隣家等第三者に被害が出た場合の補償の話ではなく、アンテナ落下やタワー倒壊で自宅に被害があった場合の自宅の補修やタワー、アンテナの補修のための補償の話です。

自宅に掛けている保険会社に確認したところ、現在入っている火災保険で概ねカバーできることが分かりました。整備不良や経年劣化が原因の場合は補償対象外とのことでしたので、タワーやアンテナは常に管理していますと言う証拠を残す必要があるようです。このため、タワーの点検簿を作りました。年に 2 回くらいこの記録を残す予定です。

詳細は 2025 年 9 月 14 日発行の会報 vol.68-03 をご覧ください。

【その他】AED と心臓マッサージに思う
#315 JE1UCI 富川 寿夫

私は 4 年前まで 300kW の短波送信所に勤務していました。送信所勤務時代に毎年 AED 講習を受けていましたが、実際に使う場面はないだろうと思っていました。

ところが 2014 年 1 月、那須塩原駅で男性が倒れている場面に遭遇し、娘さんや孫が泣き叫ぶ中、駅員が AED を持ってきたため、その場にとどまって救命の補助をすることになりました。駅員の手際は十分ではなく、娘さんの心臓マッサージのテンポや手の形を助言するなど、私は後方から支援を行いました。AED は 1 回目のショック後、2 回目以降は「ショック不要・マッサージ継続」と判断し、救急隊が到着するまで約 15 分間マッサージが続けました。

男性がわずかに声を出したため安心しかけましたが、後から「死戦期呼吸」であり、マッサージを続ける必要があったと知りました。救急隊に引き継いだ後、私は人工呼吸の際に鼻をつまんでいなかったことや気道確保ができていなかったことに気づき、強い後悔を覚えました。翌日、駅員から「一命を取り留めた」と聞いて安堵したものの、「自分をもっと積極的に動けたのではないか」という思いは残りました。

この経験から、AED の使い方を知っているだけでは不十分で、実際に行動するには大きな勇気が必要だと痛感しました。また、救命に関わった人の心のケアも重要だと感じました。講習でもこの体験を共有し、技術だけでなく精神的な準備の大切さをお伝えしています。私自身は、二度と同じ場面に遭遇しないことを願いつつ、自分が倒れた時には近くに AED があり、適切に対応できる人がいてくれることを祈っています。

詳細は 2025 年 3 月 1 日発行の会報 vol.67-06 をご覧ください。

【会員の自己紹介等】 ※一部会員限定※

会員のみなさまのご自慢の自作品、アンテナ、シャック、所有物、運用風景、自己紹介、過去紹介などを募集し、50件集まりました(45件公開)。

会員番号順(入会順)に並べています。(JN3DMJ)

#1335 JA5FP 間 幸久 (千葉県)



LoRa APRS Tracker

LoRa APRS iGate

SNOPEK-6(風船)の軌跡

私は、QRP 通信の新しい技術である LoRa(Long Range)を使った APRS を実験しています。伝統的な APRS と比べて、LoRa APRS は日本ではほとんど使われていませんが、ヨーロッパや北南米ではユーザが増えており、将来の普及が見込まれます。

Tracker から 433.775MHz チャープ周波数拡散変調の 20mW から 1W 程度の電波を発し、個人宅などに設置した iGate と呼ばれる受信局がデータを受け取ります。そのデータは、従来の APRS サーバ(aprs.fi など)に集中され、一般に公開されます。設備は軽量・低消費電力ですので、Tracker は携帯するのが一般的で、iGate 局もインターネット環境さえあれば簡単に構築できます。写真(左)は QRP Labs が販売する LightTrackerPlus1.0 で、写真(中)は LilyGO の T3 1.6.1 を使っています。写真(右)は風船に付けた SNOPEK-6 が東北地方の高度 13km の成層圏下部を通過する際の位置データです。20mW の QRP ながら千葉県までの約 500km を伝播しました。

興味のある方は、拙ホームページの

<https://www.catv296.ne.jp/~ja5fp/lora-aprs.pdf>

をご覧ください。

(編集部注：1955 年創設メンバー)

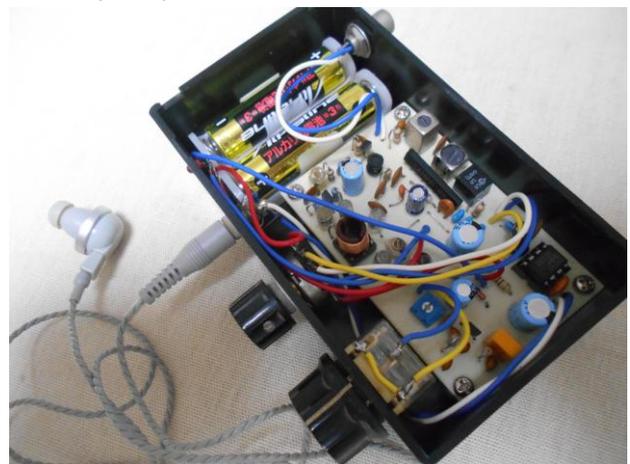
#58 JG3ADQ 永井 正範 (兵庫県)



これまで AM,CW,SSB のリグ作りは経験してきましたが、昨年は長年の課題であった 144MHz FM トランシーバの製作に取り組み、何とかモノにすることができました。今年は別のバンドの FM リグ作りにも挑戦したいと思います。

(編集部注：本会報に詳細記事があります)

#175 JL1TJM 松田 智 (千葉県)



アイテック電子研究所の SR-7 と同様の部品を買いそろえて製作したものです。今ではお休みのリスニングに使っています。スーパーヘテロダインですが CW は複数同時に聞こえてきて楽しいです。SSB もきれいに復調できます。ほうむめいど誌も懐かしいですね！

#206 JH4GCN 山本 和弘 (広島県)

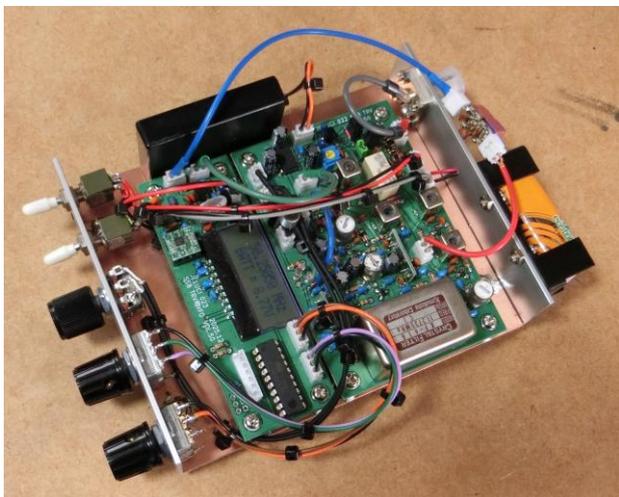


7MHz オーワダイソ受信機、7MHzTRX【QP-7+セラミック発振子 DCRX】を作りました。

#282 JP1GTS 伊藤 栄一 (千葉県)

ここ何年かは、FT8 に夢中になっています。QRP でも、十分に QSO が楽しめています。最近、記憶力の衰えがわかるようになって、和文 CW を覚えなおしています (笑)

#315 JE1UCI 富川 寿夫 (栃木県)



写真は 50MHz の SSB トランシーバです。基板は KiCAD で図面を書き、発注して作りました。一応 50MHz にしていますが、HF であればどこでも作れます。まだ完成ではなく、手前側の VFO 基板を作り直しているところです。今年のハムフェアまでには完成させ、クラブのブースで展示する予定です。

#344 JA3PZM 大隅 康司 (和歌山県)



今年は QRP クラブ創立 70 周年の年になるのですね。

自分がクラブに入会したのは約 30 年程前、40 周年の頃なのですが、当時、もっぱら QRP は CW と言われていたなかで、7MHz の SSB で JCC/JCG を追っかけては会報の「QRP ランキング」に投稿してたんだっけ。SSB での全市全郡は何とか完成し、今は主にデジタル (FT8/0.5W) で追っかけをやっているけれど、さて、これが何時になったら完成することやら。

#362 JE6QDG/ex JG1BBP 川尻 裕一郎 (福岡県)



最初のカード

左上：戦後ラジオジャパン開局時 (1952 年) のカード。

右上：SWLDX 時 (1956 年頃) のカード。

左下：JG1BBP 開局時 (1987 年) のカード。

右下：JE6QDG 開局時 (2015 年) に記念のためにのみ作成したカード。

#386 JH1KKT 松田 和之 (神奈川県)



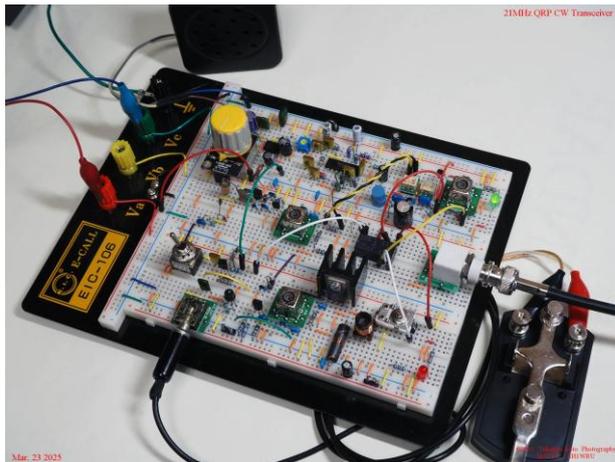
現在の私のシャックです。FT8 QRPでHF帯を中心にオンエアしております。自作機で7,14,50MHz SSBでたまに出ています。いずれも熊本標準方式のものです。お会いした際は、宜しくお願いです。

#410 JH1ARY 黒田 守宏 (東京都)



最近 POTA を始めました。何かのついでに、無線機と ANT を持って POTA をするスタイルで、ぼちぼちやろうかと思えます。先日、デフリンピックが、駒沢オリンピック公園であったので、見学ついでにアクティベーションしちゃいました。hi

#456 JA9TTT/1 加藤 高広 (埼玉県)



ブレッドボード QRP トランシーバ

某誌の特集記事用に開発した QRP な 21MHz トランシーバです。HAM の雑誌でないためか残念ながら記事になりませんでした。hi

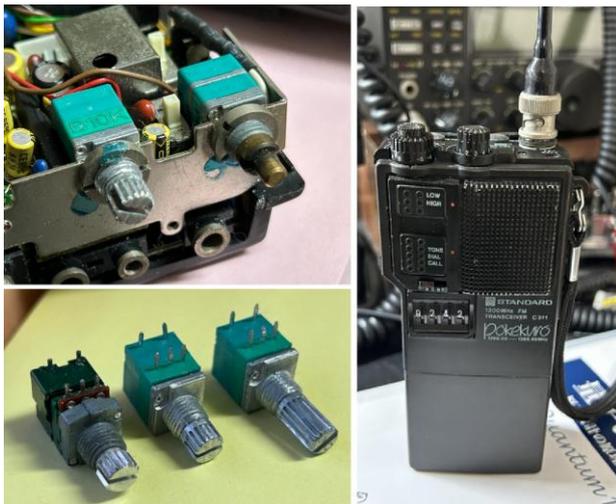
受信部はダイレクト・コンバージョン BPF 付き。スピーカが鳴ります。送信部 2SC1970 で出力約 1W の CW でモニタのサイドトーンつき。21MHz 帯の水晶を VXO してトランシーブ操作できます。

#505 JP2LOA 原島 輝美 (愛知県)



昨年 2025 年内で自宅、実家、モービルの各同一メーカー 50W 無線機 (HF+50MHz) 3 台を 10W 機に入替え完了したので、ほぼ 1W に絞った運用メインで無線活動しています。仕事リタイア後は時間があり、モービル助手席に専用テーブル自作しました。

#513 JL1KRA 中島 潤一 (神奈川県)



貴重な 1200MHz 機、C311 の音が出なくなり故障原因 VR を交換しました。アルプスの S 付 VR は中華製があり加工、何とか押し込みました。ローレット軸を切るのって難しいですね。ノウハウお知らせ可能です。FCZ さん AM 送信機、ミズホ QP-7 のクローン頒布はまだ続けています。

<https://jl1kra.sakura.ne.jp/>

#514 JK2NOC 鈴木 道夫 (愛知県)



最近は画像のような山岳移動がまったくできず、シャックと簡易自動車移動で細々と運用している次第です。

今年は陽気が良くなったらぜひ、遠隔地での移動運用をしたいと思っています。

#573 JA1KEG 長縄 博 (東京都)



過去の CW-QRP 交信

2011 年 11 月 23 日、18.072MHz で CT3FT (SPLIT 指定) を呼ぶ賑やかな信号発見。

K2/CW/5W/ペランダ Whip, 08:06UTC から呼び始め、08:16 にエコーを伴う KE?/QRP の応答あり、(His599/My549) QRP 信号に親切な CT3FT に感謝!

#589 JR0QWW 井口 清太郎 (新潟県)



QRP、SOTA 等に関心を持って活動しています。昨年は西暦 2025 年ということで標高が 2025m の山形・福島・新潟県の間につながる飯豊連峰北股岳 (SOTA:JA/NI-011) に登ってきました。山頂では KH1 で HF 帯を運用するも交信できず、145MHz/433MHz 帯 FM で 4 局と交信できました。

#602 JH1FOT 森田 廣久 (岐阜県)



— ANT2 段化しコンテスト入賞率向上へ —
当局は参戦し「第1回 全市全郡 関東5位」賞状返還要求(本部計上ミス)が有り、それが悔しくて全力注ぎ翌年関東1位から連続入賞し4年後全国1位をゲット。

2エリアに引っ越し後も参戦しているが入賞回数が厳しくなったので下ク6エレ、上ラ7エレ設置し入賞率向上挑戦中?!11/7には南米 LW2 DAF(約18400km)とSSBで交信出来た。

#630 JJ1JRH 橋本 欣三 (東京都)



今年の8月に開局50年を迎えます。中学生入学直前の国試で免許を取り、6mSSBでのスタートでしたがその後直ぐにCWの免許を取りHFデビュー、夢であった海外交信をはじめDXCC取得した時は嬉しかったです。カードも色々なデザインで発行しました。左上は初めてのカード、その下は初めての印刷カード、右上はQRPPの専用カード、その下は開局30周年記念カードです。

#645 JA5DIM 林 章二 (愛媛県)



無線ネタでは無く近況報告です。12月に二人で北極点やJW/スバルバード上空で転進するOH/フィンランド行き直行便を利用し、オーロラ探訪ツアーに参加しました。天候は雪がちでしたが、レヴィ北方まで足を延ばして捜索しオーロラを楽しむことができました。

#650 JN3DMJ 松本 貢一 (和歌山県)



2006年に製作し、その後も何度も改造している7MHz CW トランシーバー「SST40」(出力2W)。キットを元にスピーカー仕様にし、FREQ-miteによる周波数表示追加、BPF、LPF 増強等。2,300 QSOs以上。12エンティティとQSO。昨年のQRPコンテストでも活躍。

#662 JR7HAN 花野 峰行 (岩手県)



昨年タワーを建て Phone で遊べるようになったので、QRP 活動は少々低調です。14060 等の QRP 周波数も聞いているのですが、コンディションが期待したほどではないようで、QRP 局の信号は確認出来ない状態です。であればアンテナの改善かと思い、密かに検討中です。

さて、訳あって御遺品の QRP リグが手元に届きました。皆さんに活用していただこうと思いましたが、70 周年記念行事の際のオークションに出す予定です (売上げはクラブに寄付)。

#678 JA8IRQ 福島 誠 (北海道)



函館在住の#678、JA8IRQ/福島です。アパートにアンテナを設置できないのでほとんど電波を出してませんが、ときどき工作をします。

今年は、以前ジャンクで買った PTT スイッチ付のハンドセットを使ったトランシーバを作ろうと計画しています。

#704 JR1CHU 金重 好美 (神奈川県)

To Radio JAI ME I
Confirming Our QSO

Date	Time	RS	MHz	2Way
8 Jan. 2026	16:14JST	59	7	FREEDV

Rig: mhF SDR + HL-45B Power: 50W
Ant: 10mH WHIP (5m長 Rod ANT)
Rmks: 2026 QSOパーティー有難う御座いました。
OSL#36,056 OSL PSE

JCC1106 神奈川県 藤沢市
OP 金重(かねしげ) Yoshi
also JA4CGU ex JT7FAG

JR1CHU

I love ARDF & QRP ARDF 日本
We are ARDFer of NIPPON JAPAN

RT-4D MD-380

<DMR (デジピータ TGIF)で遊んでいます>

昨年は DMR (中華製 HT を 1 台増設し、デジピータ、TGIF に QRV) と FreeDV で遊びました。両方とも実用期に入った様です。

今年は万年 LID OP の CW (特にホレ)、SK までには何とかしたいと思います。

ご指導、ご鞭撻を

#709 JR3TGS 稲田 俊久 (大阪府)



TGeS LAB TGkeyer4

CW が面白い！普段は 599BK の超時短 QSO ばかりやっていますが、やっぱり自分の気持ち、言いたい事を伝えられるのは和文 CW です。

エレバグモード搭載のエレキー TGkeyer4 でトロロロロ〜というメカ式バグキーライクな音を出して和文を楽しんでいます。

#710 JH7SQA/1 村越 栄二 (埼玉県)



東海道本線 二川駅からの新幹線と東山の頂上

2025年10月。久々の2エリアでの移動運用。ポイントは東山258m。この場所は平地に忽然と山があり東は静岡各局、西は愛知各局に相性が良く次々呼ばれる。頂上は比較的広いので、アンテナを張るのにストレスがない。その日は天候の急変で泣く泣く撤収したので、また行ってみたい場所でした。430FMで運用

#799 JH4WUI 吉崎 秀一 (岡山県)



やっと手に入れた IC705、ANT は講習会で製作した Δ loop で CQ 誌の全国体験運用に一応参加しました。

が、体験者はなく。でも、写真右側の CW 体験には沢山の子どもたちが参加してくださいました。今年もぼちぼち QRP・・・

#946 JE1NGI 山西 宏紀 (東京都)



2025年8月に、QRPPp、東京都特記のWAKU(Worked All KU Award)を得ました。2009年9月18日の1st QRPPp QSO から15年11か月かけての完成です。次は QRPPp 特記の WACA、WAGA を目指してがんばります。

#947 JH6MRT 田村 和義 (長崎県)



「CW タッチセンサーの自作報告」

2SC1815 を短点用、長点用の各々に2個ダーリントン回路とし、又、調整用に68pFを取り付けてケースは「単3乾電池4個入」を利用しました。短点用と長点用もタッチパドルの部分はマジックインクのキャップを取り付けました。これをエレキヤに接続して無線機をつなげます。軽くて移動携帯に便利ですが、指先が荒れていると皮膚抵抗が上がり感触が変わるのでXYLのハンドクリームを少し塗布します。(笑) 自宅ではテーブルやソファの席でもモールス送信練習に利用しています。

#949 JH5NTL 岡島 靖司 (高知県)



本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年 CRkit(JL1KRA 局) のところから Venus SW-3B Sunspot を入手致しました。

簡単な HF のアンテナを作ったり、Parks on the air(POTA)をハントしながら楽しんでいます。

#988 JG1SMD 石川 英正 (千葉県)



昨年 Es が低調で、FT8 をやっていない私のアクティビティは前年対比半減でした。今年は HF にも出るようにします。また 430FM は局数も多く QRP でも飛ぶことを再発見。今年は移動運用も増やしてみたいと思います。写真は移動用の 6mAM/DSB トランシーバー、完成まであと少し！

#1120 JA2CJE 高木 茂明 (静岡県)

昨年度、当クラブのメーリングリストにて、無線技術の普及に努められた故杉本哲氏 (JA1CNE) が話題となりました。(また CQ 誌とうにても)

私 JA2CJE も子供の頃から大変お世話になり、今日 Ham を楽しんでいるのも氏のお陰であり、氏を師匠と仰いでいる信奉者の一人として自認しております。

亡くなられてから 50 年も経つのに、未だ語り継がれるとは本当に驚きです。改めて尊敬してまいります。

#1143 7L4WVU 原口 忠 (東京都)



POTA で目標としていた全都道府県の ACT を自作 QRP 機+アンテナで達成できました。酷暑でペースダウンしましたが、10月に東北全県、そして最後は年末に佐賀県と長崎県に移動できました (写真は、島原半島県立公園)。

#1189 JP3OYB 谷口 直之 (大阪府)



年齢を重ねるたびに、担ぎ上げがかなり辛くな

ってまいりました。

単独行の場合、リグ以外にも食糧、水、ビバーク用品云々と大所帯となってしまいます。

「本当は山登りなんて大嫌いだったのに・・・」なんて思いながら山頂目指して我慢して登っております。

人の少ない山は下草も伸び放題で足場も見えず、かなり登りにくいです。(笑)

写真は現在使用中の当局 QSL カードです。

#1228 JP1BVR 横堀 幸司 (神奈川県)



ELECRAFT K2(1st LOT)

10年前に再開局して間もなく、ELECRAFTの無線機に心奪われました。K2の市販品は最初の10台はJA向けだったそうですが、その中の1台です。中古で入手した時には動作不良でしたが、何とか自力で直しました。

#1246 JE9VWK 北村 信二 (福井県)



皆さんこんにちは、JE9VWK 北村です。

昨年5月に敦賀市金ヶ崎緑地にて敦賀クラブ

の仲間と 8J9VLP の運用致しました。

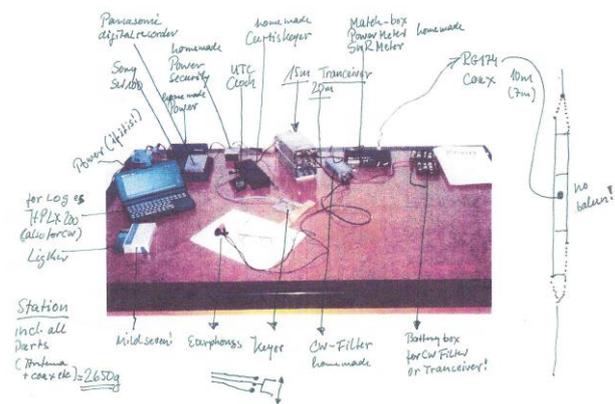
今年も宜しくです。

#1258 JH8KAO 阿部 郁夫 (北海道)



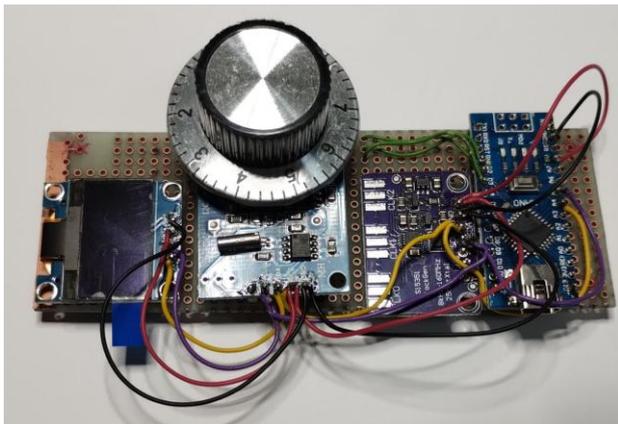
移動運用時に欠かせないのがポータブル電源です。自分は1500AHの電源を使っているのですが、ACC充電では15時間かかるので、バッテリー直給電で24Vを生成して移動時間中6時間で満充電。エンジンが起動し安定してから充電するコントローラを作成しました。

#1271 JE5WJM 前田 宏之 (香川県)



2023年3月1日発行の「JARL QRP CLUB 会報」vol.65-06 Paperで紹介したZK3HC局がQRP運用をした際の無線システムです。送付されてきたのでご紹介します。トケラウ島とクック島から、2W OUTのミズホハンディートランシーバーでの運用でした。

#1274 JH4TNX/1 岡本 一彦 (神奈川県)



リグのVFOに使用する、Si5351AのPLLのプロト評価しています。自分で基礎からやりたいところですがあと何年かかるかかもしれず、AdaFruitsのユニットを買いGitHubでソフトを入手しました。書き込むとあっという間に目的が達せられて何年も宿題になっていたのが、あっという間に終わってしまいました。世の中の進化についていくのがやっとです。

#1310 JH1USG 小倉 正彦 (千葉県)



18・21MHz 2バンド CW/SSB トランシーバー

AD9850のDDSモジュールを使ったDDS-VFOで、Arduino Pro miniで制御し、スケッチはAD7Cのものです。受信はシングルスーパーで、送信部のファイナルは2SC1971です。LPFは兼用ですがBPFをバンドごとに設置しました。

#1323 JE3IFZ 上田 昌一 (兵庫県)



自宅の環境をHFは50Wに増力したものの自宅周辺の運用環境があまり良くないため、FT-817NDやハンディ機をお供に移動運用することが多いです。最近ではFT85Wでの移動機会を増やしています。

2025年のQRPでの思い出は、KANHAMコンテストハンディ機部門で入賞したことと1200MHz移動局での初運用でした。

1200MHz移動局での初運用は万博記念オペレーターとしてだったため、喜びもひとしおでした。その後1200MHzのリグやアンテナを入手する機会があり、自局コールサインでも移動初交信が出来ました。

#1332 JS2HFC 高橋 正人 (静岡県)



写真は貴田電子さんの7MHzトランシーバキ

ット KEM-TRX7-LITE をケースに組み込みました。今年も工作に励もうかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ることを目標にしています。

#1339 JH7PVD 相川 和男 (宮城県)

外観 ジェネレータ VXO, TRV, PA



ジャンクで入手した半世紀前の CB ハンディに組み込んだ 6m ハンディをご紹介します。外観と機構部分はほぼそのまま、1.5m のホイップは短縮型のエンドフェッドに。昨年の FD は自宅庭移動(?)で 6 エリアと交信できました。

Es シーズンが待ち遠しい JH7PVD/相川@06010

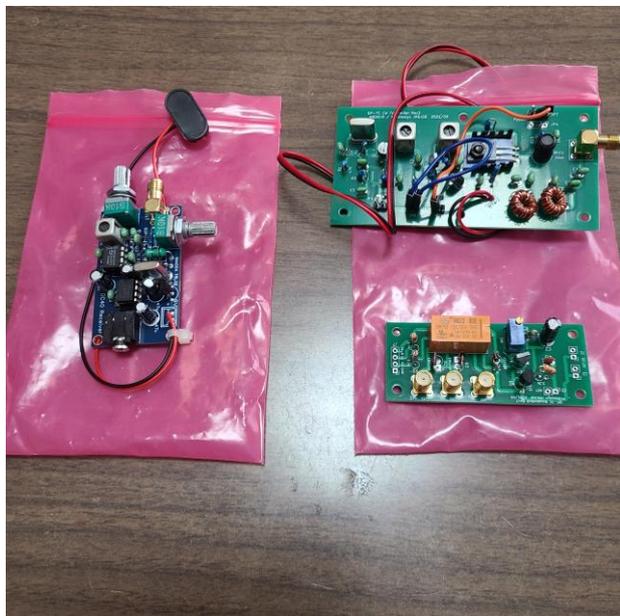
#1350 JN2MCQ 田村 高浩 (愛知県)



昨年は、関ハムと東京のハムフェアに行き、QRP クラブのブースに挨拶に行きました。

そして、10月、八重洲にファイナルが壊れていた FT-817 の修理を頼み、無事戻って復活し、使えるようになりました。

#1342 JE4EFZ 西本 隆彦 (山口県)



7MHz のキット作製中

私は 5 年前に再開局してハンディ機にて無線をしています。メーカー製の HF 機は高価で手が出ないのでキットを利用してトランシーバーを作製しているところです。今年中に 7MHz(CW)で出

#1360 JE4FNC 尾原 守 (岡山県)



昨年この会に参加させていただきました。ずっと DXCC を追いかけてハイパワー運用をしていましたが、QRP の記念局運用のお手伝いをするようになって興味を持ちました。

写真の釣り竿アンテナは 7、10MHz のアンテナで、ローカル局 JR4DAH 伊豆野さんの指導の下作成した「伊豆野スペシャル」です。QRP の移動運用ではいつも使っています。凄くよく飛ぶ FB なアンテナです。声が聞こえてましたらお声がけくださいね！よろしくお願いいたします。

【レポート】第29回関西アマチュア無線
フェスティバル (KANHAM2025)
#650 JN3DMJ 松本 貢一

第29回関西アマチュア無線フェスティバル (KANHAM2025) が2025年7月19~20日に大阪府池田市の池田市民文化会館 (写真1)、豊島野公園等で開催されました。

主催者発表によると2日間の来場者数は前年と同程度の8,000名でした。



写真1 主な会場である池田市民文化会館

1. 当クラブブース



写真2 7月19日(土) 16:50頃の集合写真



写真3 7月20日(日) 14:50頃の集合写真

当クラブでは3エリアメンバー中心にブースを出展しました。写真2,3は集合写真です。

2. 当クラブブースでの主な展示品

以下、当クラブブースでの主な展示品を順不同で紹介いたします。



写真4 430MHz SSB ハンデイトランシーバー (JG3ADQ 永井さん)

(編集部注：本会報に詳細記事があります)

このほか、430MHz 1/2λ 電圧給電
ロッドアンテナを展示されました。



写真5 144MHz SSB ハンデイトランシーバー (JG3ADQ 永井さん)



写真6 7MHz CW トランシーバー Pixie
(JG2VSF 大鐘さん)

特徴：受信時の局発の漏れ対策で、アンテナ入出力部分に 50dB のアッテネーターを挿入し、もともと -9dBm の漏れを -54dBm (4nW) より小さくしています (受信感度、送信出力も下がります)。



写真7 厚手アルミホイルで試作する
2.4GHz, 5.6GHz および 10.4GHz
フィードホーン (JA3MJR 梶井さん)

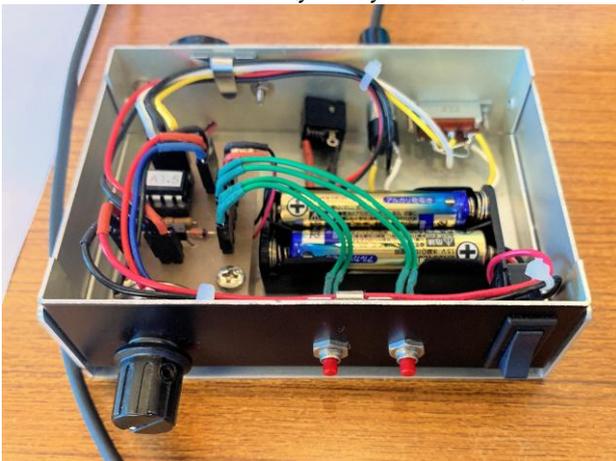


写真8 TGeS LAB の TGkeyer 用マイコンを使用して製作したキーヤー (JS1BVK 山田さん)
(注：TGeS LAB は JR3TGS 稲田さんが運営)

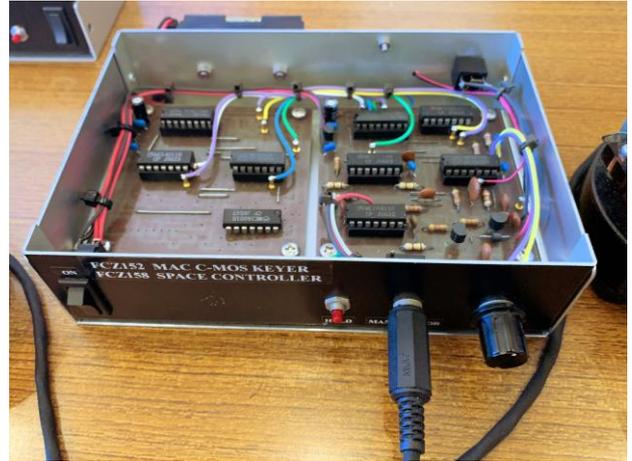


写真9 FCZ #152 MAC C-MOS キーヤー
(FCZ #158 スペースコントローラ付き)
(JS1BVK 山田さん)



今年の KANHAM コンテスト ハンディ機部門で
使用した無線機達。
これ QRP 通信の一つです。 (by JE3IFZ/3)

写真10 JE3IFZ 上田さんが第15回 (2025年)
KANHAM コンテスト シングルオペレーター
(電話) ハンディ機部門で入賞 (第1位)
されたとき使用した VX-5、ID-51



写真11 28MHz 基本波発振 2石 CW 送信機
(JN3DMJ 松本)

3. 関ハム 2025 QRP クラブ混信会（懇親会）

7月19日（土）の夕方、2年ぶりに懇親会を開催しました。お店は「白木屋（石橋阪大前東口駅前店）」で、11名が参加しました（写真12）。



写真12 関ハム 2025 QRP クラブ混信会（懇親会）

詳細は 2025 年 8 月 17 日発行の会報 vol.68-02 をご覧ください。

【レポート】 ハムフェア 2025

#650 JN3DMJ 松本 貢一

ハムフェア 2025 が 8 月 23～24 日に有明 GYM-EX で開催されました（ブース設営は前日の 22 日）。主催者発表によると 2 日間の来場者

数は 42,000 名で、数字上は前年の 45,000 名を下回っていますが、周囲の人の感想は「前年と同じか多い」が多かったように思います。



写真1 有明 GYM-EX（8月23日撮影）

1. 当クラブブース

当クラブは 2023 年まで長年「純粋展示」として出展していたので商取引が禁止されていましたが、2024 年からはそのような区分が無いため、ブースでの物品の販売を禁止しない方針とし、事前申告、役員会で審査のうえ若干販売しました（後述）。写真 2,3 が集合写真です（当クラブ会員以外を含みます）。



写真2 8月23日（土）16:50頃の集合写真



写真3 8月24日(日)14:30頃の集合写真

2. 自作品などの展示物

以下、当クラブブースでの自作品などの展示物を順不同で紹介します。

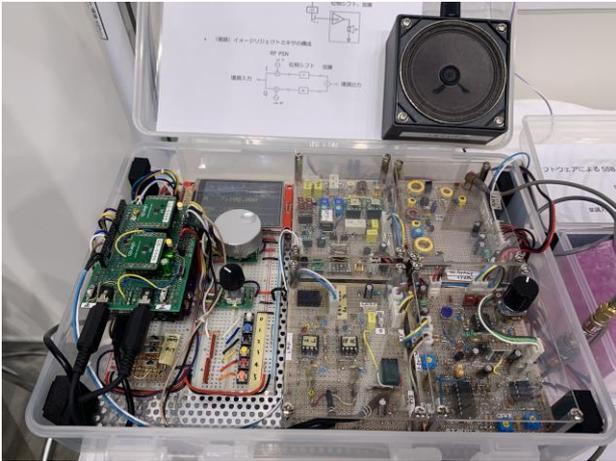


写真4 ソフトウェアによる40mバンド
DC受信機 (JA0UFZ 戸井さん)
(編集部注: 本会報に関連記事があります)



写真5 ソフトウェアによるSSBジェネレータ
(JA0UFZ 戸井さん)
(編集部注: 本会報に関連記事があります)

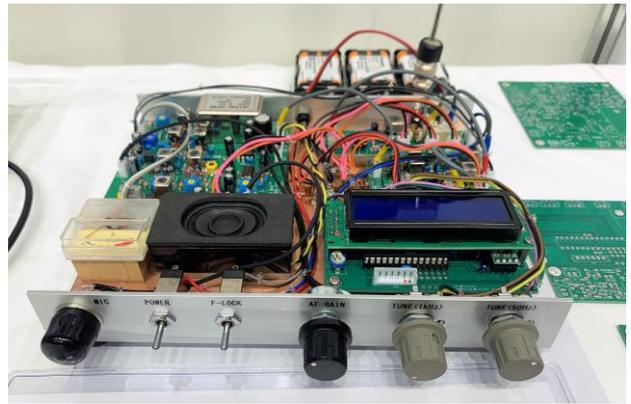


写真6 令和版KCS(熊本シティスタンダード)
を使ったSSBトランシーバ
(JE1UCI 富川さん)

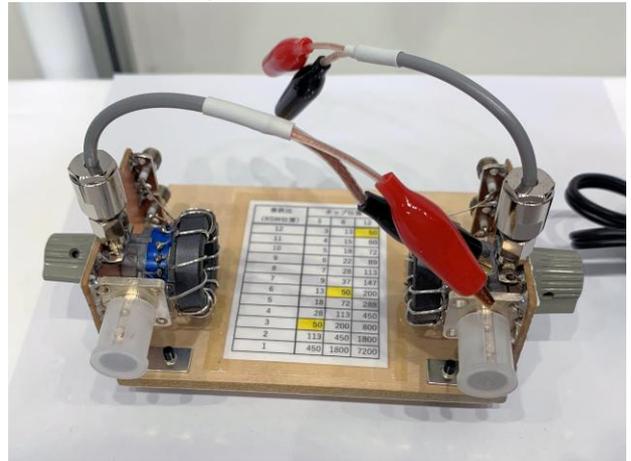


写真7 XF(クリスタルフィルタ)チェッカ
(JE1UCI 富川さん)



写真8 パワー計の基準
(JE1UCI 富川さん)

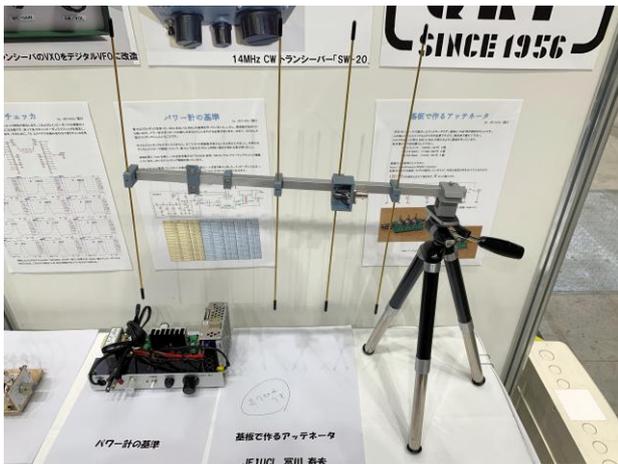


写真9 430MHz ポータブルアンテナ
(JA6IRK/1 岩永さん・JK1LSE 本田さん)

3. 販売品

1つだけですが、冒頭で述べました当クラブブースでの販売品を紹介します。



写真10 基板で作るアッテネータの販売
(JE1UCI 富川さん：クラブに寄付)

4. パネル展示

ブース背面・横面のパネルに当クラブの活動に関する写真を展示しました(写真11,12)。

右半分は主に製作関連、左半分は主に運用関連とし、会報のJR3ELR/1吉本OMの無線旅シリーズをはじめとする一般記事、「会員の自己紹介等」、「会員の近況報告」から抜粋して展示しました。



写真11 パネル展示(全体)



写真12 パネル展示(抜粋)
(JR3ELR/1 吉本 OM の無線旅シリーズ)

5. QRPer の集い

8月23日(土)夕方にはQRPerの集いを開催しました。場所は「すし土風炉 銀座コリドー街店」で15名が参加しました(写真13)。



写真13 QRPerの集い

詳細は2025年9月14日発行の会報 vol.68-03 をご覧ください。

【レポート】第8回北海道ハムフェア

#650 JN3DMJ 松本 貢一

第8回北海道ハムフェアが9月20～21日に札幌市東区、札幌駅から徒歩圏内の「de AUNE さっぽろ」(デ・アウネ さっぽろ、札幌総合卸センター)で開催されました。de AUNE さっぽろは2019年12月に完成し、北海道ハムフェアとしては2回目の会場になります。主催者発表によると2日間の来場者数は約1,000名でした。



写真1 会場の de AUNE さっぽろ
(札幌総合卸センター)

1. 当クラブブース

当クラブでは JR8LJS 豊川さんはじめ 8 エリアメンバー中心にブースを出展しました。本州からは JE1UCI 富川さん、JN3DMJ 松本がお手伝いしました。札幌 QRP ミーティングと隣り合わせで出展しました。写真2は集合写真です(当クラブ会員以外を含みます)。



写真2 9月20日(土)16:50頃の集合写真

2. 当クラブブースでの主な展示品

以下、当クラブブースでの主な展示品を順不同で紹介いたします。

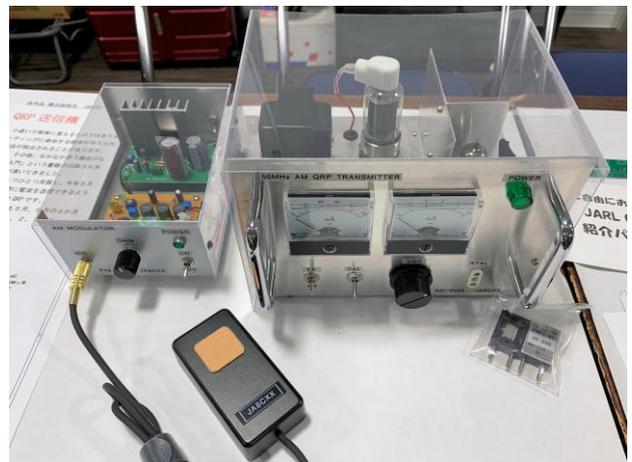


写真3 真空管式 50MHz AM QRP 送信機
(JA8CXX 高野さん)



写真4 基板で作るアッテネータ3種類を販売されましたが、うち1種類の写真
(JE1UCI 富川さん)



写真5 144MHz CW トランシーバー
(JR8LJS 豊川さん)



写真8 50MHz AM トランシーバー
「ミニトラ」(JN3DMJ 松本)



写真6 50MHz AM 送信機 RS-501
(JR8LJS 豊川さん)



写真7 50MHz AM 簡易トランシーバー
(JA8IRQ 福島さん)

このほか、JE1UCI 富川さんは令和版 KCS (熊本シティスタンダード) を使った SSB トランシーバ、XF (クリスタルフィルタ) チェッカ、パワー計の基準を展示されました。

4. 札幌 QRP ミーティングと合同の懇親会

9月20日(土)の夕方、札幌 QRP ミーティングと合同で懇親会を開催しました(結果的に参加者は両方のメンバーか当クラブメンバー)。場所は札幌駅近くの「きたとら札幌駅北口店」で、9名が参加しました(写真9)。



写真9 札幌 QRP ミーティングと合同の懇親会
(提供: JA8DRE 鈴木さん)

詳細は2025年11月13日発行の会報 vol.68-04 をご覧ください。

【レポート】2025年JARL QRP CLUB全国集会
#650 JN3DMJ 松本 貢一

1. はじめに

2025年11月15日(土)から1泊2日で開催された全国集会についてレポートいたします。今回の宿泊場所は愛媛県今治市大三島の「民宿 珈里葡 (カリブ)」(良い名前ですね)です。

参加者は9名で、写真1の左から JN3DMJ 松本、JA5FP 間さん、JH1ARY 黒田さん、JR4EDG 有田さん、JH4GCN 山本さん、JS1BVK 山田さん、JA5DIM 林さん、JA6IRK/1 岩永さん、JK1LSE 本田さんです。



写真1 集合写真(2日目の朝撮影)

2. 移動運用:道の駅 多々羅しまなみ公園

1日目(土曜日)の午後、希望者で「道の駅 多々羅しまなみ公園」にて移動運用をしました(写真2~5)。



写真2 「道の駅 多々羅しまなみ公園」から見る「多々羅大橋」



写真3 移動運用風景: JK1LSE 本田さん



写真4 移動運用風景: JA6IRK/1 岩永さん



写真5 移動運用風景: JA5DIM 林さん

3. 発表会

1日目の夕方には、JA5FP 間さんが「コルピッツ発振回路の出力レベル増大法」のタイトルで発表をされました(写真6)。



写真6 発表会

4. 多々羅温泉 三島の湯

発表会から懇親会までの間に、「多々羅温泉 三島の湯」に行きました（写真7）。



写真7 多々羅温泉 三島の湯

5. 懇親会

この民宿ご自慢の「おこぜ料理」で懇親会をしました（写真8,9）。



写真8 懇親会



写真9 おこぜ料理（これ以外にも料理あり）

懇親会後は部屋（前述の写真6）に戻り、あらかじめ近所のスーパーで購入した飲み物等で2次会をしました。

6. 2日目（日曜日）

翌朝は朝食後、冒頭の集合写真（写真1）を撮りました。

一部メンバーは帰りましたが、希望者で1日目と同じ「道の駅 多々羅しまなみ公園」にて移動運用しました（写真10,11）。



写真10 2日目の移動運用風景（1）
（道の駅 多々羅しまなみ公園）



写真 11 2日目の移動運用風景（2）
（道の駅 多々羅しまなみ公園）

昼食は道の駅にてご当地グルメ「大三島めんマヨオムそば」or「大三島ソースオムそば」にし、解散しました。

7. おわりに

今年（2026年）は当クラブ創立70周年ですので、全国集会に代えて11月7日に70周年記念式典を行う予定になっております。

【お知らせ】2025年度活動報告

役員・監査役一同

※一部会員限定※

◆会員数（正員）は398名です（2026年2月現在）。1年前と比較して4名減少しました。

◆2023年4月1日から2026年3月31日までの役員・監査役は以下の通りです。

会長	JR1QJO	矢部
副会長	JA5DIM	林
事務局長	JN3DMJ	松本
会計担当	JH1ARY	黒田
監査役	JR7HAN	花野
監査役	JE1UCI	富川

◆2026年4月1日から2029年3月31日までの役員・監査役は以下の通りです。

会長	JE1UCI	富川
副会長	JA5DIM	林（再任）
事務局長	JN3DMJ	松本（再任）
会計担当	JH1ARY	黒田（再任）
監査役	JR7HAN	花野（再任）
監査役	JR2FNK	鶴田

（2025年12月30日付役員選挙公報にもとづく）

◆2025年10月1日から2028年9月30日までの選挙管理委員について紹介いたします。

委員長	JH4QPI	竹野
委員	JS1BVK	山田
委員	J13BSB	山本

◆現在のスタッフについて紹介いたします。

会報編集人	JN3DMJ	松本（兼任）
コンテスト担当 （QRPコンテスト）	JG3DHN JA9RRH	上田 中社
WEB担当	J12WXU	柴田
アワード担当	JH3VAA	野村

（順不同）

◆JARL登録クラブ（登録番号：10-4-151）

当クラブはJARL東京都支部所属の専門クラブとして登録されています。

2025年4月3日に登録更新手続きをし、6月23日に登録更新完了通知を受信しました。

◆2025年度の会報

会員限定PDF版を6回、紙の会報（本会報）を1回、計7回発行しました。

会報は「会員同士の交流の場」としての機能の充実のために、2020年10月4日から会員限定に変更していますが、2025年11月13日発行の会報vol.68-04から、会報の一部を当クラブウェブサイトで公開（PDF）することにいたしました。

◆KANHAM、ハムフェア、北海道ハムフェアに出展し、QRPerの集いも開催しました（前述）。

◆クラブ紹介パンフレット

2025年7月のKANHAMに間に合わせるように作成し、KANHAM、ハムフェア、北海道ハムフェアでブース来訪者などに配布しました。

◆2025年11月15～16日に全国集会を開催しました（前述）。

◆懇親会

「ネット QRP 懇親会」として Zoom 等で 9 回開催しました（8 月はハムフェア時の QRPer の集い、11 月は全国集会にてリアル懇親会実施）。

2025年6月以降「無線機の自作等の相談」コーナーにも取り組んでいます。同月以降の懇親会の詳細は各会報をご覧ください。

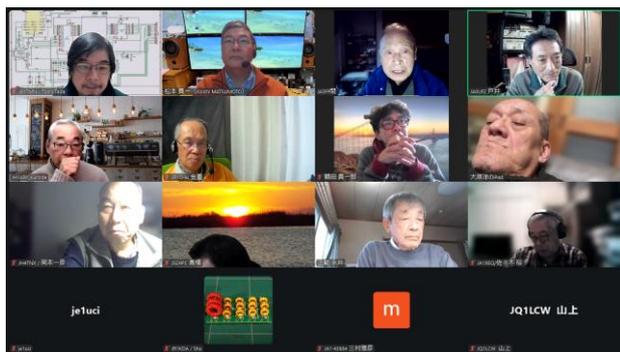


写真 1 2025 年 12 月度ネット QRP 懇親会

◆2025年11月3日に「JARL QRP CLUB 2025 年 QRP コンテスト」を開催しました。

◆2025 年度、当クラブのアワードは 5 件発行しました（2026 年 2 月現在）。

◆当クラブは社団局 JQ1ZYG を開設しています。

◆役員会 ※会員限定※

◆会員の生まれ年・年齢調査

クラブ運営の基礎情報にするために実施し、結

果を 2025 年 11 月 13 日発行の会報 vol.68-04 に報告しました。結果概要としては、会員の平均年齢は 66.3 歳、中央値も 66 歳でした（年齢は 2025 年末時点）。生まれ年では平均値・中央値ともに 1959 年生まれでした。

【お知らせ】 JARL QRP CLUB からのお知らせ

#650 JN3DMJ 松本 貢一

※一部会員限定※

◆当クラブに関する連絡先のメールアドレスは以下のとおりです。

qtc2@jaqrp.net	当クラブの活動全般についての質問、ご要望、ご意見。このメールは役員と監査役に届きます。
contest2@jaqrp.net	コンテストについての問い合わせ先はコンテスト担当へ。（ログの提出先メールアドレスは異なりますのでご注意ください。）
kaiin-info2@jaqrp.net	会員情報（メールアドレス等）の変更はこちらへ。事務局長などに届きます。（ただし、ご意見等がある場合や、退会連絡は qtc2@jaqrp.net をお願いします。）
award2@jaqrp.net	アワード関連についての問い合わせ先はアワード担当へ。
qrpnews2@jaqrp.net	会報への投稿などについては編集部へ。

【編集後記】

#650 JN3DMJ 松本 貢一

紙の会報（本会報）は一部の記事を掲載しましたが、ほかにも貴重な記事が多数ございますので、各 PDF 版会報をご覧くださいと思います。

今回、宛名印刷業務を JH1ARY 黒田さんに担当していただきました。厚く御礼申し上げます。

本会報が PDF でもよい旨も 300 名以上の方にご協力いただき御礼申し上げます。

今後ともよろしく願いいたします。

JARL QRP CLUB 会報 vol.68-06-Public
公開版

発行 2026年3月1日
発行人 JR1QJO 矢部 伊知郎
編集人 JN3DMJ 松本 貢一
発行所 JARL QRP CLUB
電子メール qrpnews2@jaqrp.net

Copyright (C) 2026 by the JARL QRP CLUB